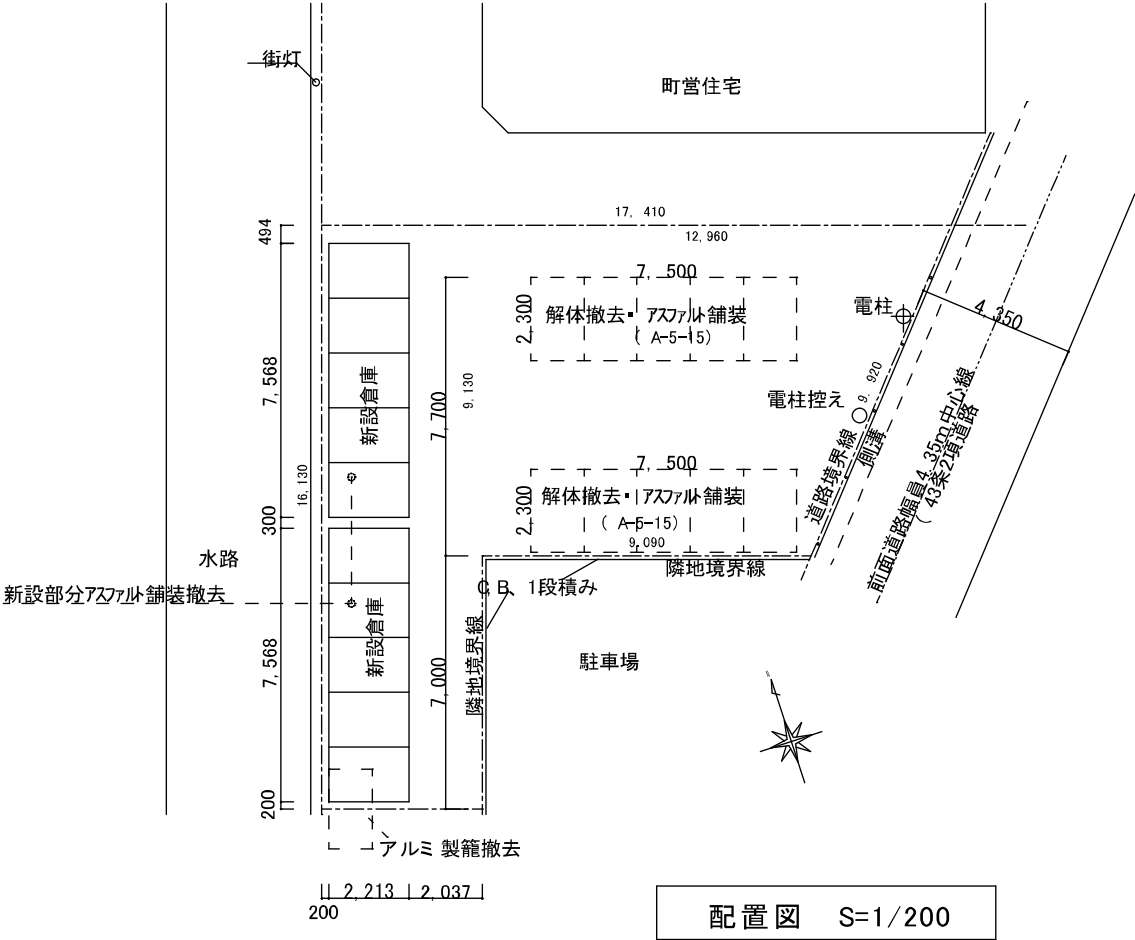


特記仕様書（建築工事編）					
I 工事概要					
1. 工事場所 幡多郡黒潮町入野（都市計画区域（内）外）					
2. 敷地面積			㎡		
3. 構造・規模					
4. 建築面積			㎡		
6. 主要用途			5. 延床面積 ㎡		
II 建築工事仕様					
1. 共通仕様					
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。					
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は()図、機械設備工事の工事仕様書は()図による。					
(3) 受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。					
2. 特記仕様					
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。					
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。					
(3) 特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。					
(4) 特記事項に記載の(別図- . . .)は、標準仕様書の「別図 各部配筋」の当該項目を示す。					
(5)  印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。					
(6) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。					
1 各章共通事項	1 適用基準及び区分	※ 建築工事監理指針（上下巻） ※ 建築工事標準詳細図 ・鉄骨設計標準図 ・鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編） ※ 建設副産物適正処理推進要綱 ※ 建築材料等評価名簿 ※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。 区分等 基準風速 Vo=() m/s 地表面粗度区分（・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ） 積雪区分 建設省告示第1455号 別表（ ）	国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和元年版） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成28年版） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 国土交通大臣官房官庁営繕部監修		
	2 電気保安技術者	・適用する ・適用しない	(1.3.3)		
	3 施工条件	施工時間帯 ※指定なし 部位別の施工順序 ※指定なし	・指定有り（ ） ・指定有り（ ） (1.3.5)		
	4 工事安全計画書	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画（1.3.7）書を監督職員に提出する。			
	5 発生材の処理	・引き渡しを要するもの（ ） ・特定管理産業廃棄物（種類： 処理方法： ） ・現場において再利用を図るもの（ ） ・再生資源化を図るもの（ ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材） ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。	(1.3.11)		
	6 アスベスト成形板の処理等	処理を行うアスベスト成形板の仕様 ・石綿スレート ・石綿セメント板 ・けい酸カルシウム板 ・ロックウール化粧吸音板 ・ビニル床タイル ・その他 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 図面に記載されている使用範囲のみならず、広く確認を行う。 (2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認			
	7 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策	※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（VOC）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。 対象建築材料等 ①合板、木質フローリング、構造用合板、集成材、単板積層板、MDF、パーティクルボード、ウレタン樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上り塗材 ②塗料 ③木材保存剤（防蟻処理、防蟻処理等） ④内装用接着剤、木工用接着剤 ⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フェノール、クロロホルム、ダイオキシン、多環芳香族炭化水素を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する 1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2）フェル酸ジ-n-ブチル、フェル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする ①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する		
	8 材料の品質等	室内に関わる材料は（上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フェル酸ジ-n-ブチル、フェル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロロホルム、ダイオキシン、多環芳香族炭化水素の有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。 本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）から6）の事項を満たすものとする。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3）安定的な供給が可能であること。 4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する。			
	9 技能士	工事種目 技能検定職種 技能検定作業 仮設工事 とび ・とび作業 鉄筋工事 鉄筋施工 ・鉄筋組立て作業 コンクリート工事 型枠施工 ・型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ・コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 鉄工 ・構造物鉄工作業 とび ・とび作業 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ブロック建築 エーエルシーパネル工事 エーエルシーパネル工事作業 防水工事 防水施工 ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質アスファルトシート防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 石工事 石材施工 ・石張り作業 タイル工事 タイル張り ・タイル張り作業 木工事 建築大工 ・大工工事作業 枠組壁建築 ・枠組壁工事作業 建築板金 内外装板金作業 かわらぶき ・かわらぶき作業 金属工事 内装仕上施工 ・鋼製下地工事作業 建築板金 内外装板金作業 左官工事 左官 ・左官作業 建具工事 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ・ガラス工事作業 自動ドア施工 ・自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 カーテンウォール施工 ・金属製カーテンウォール工事作業 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ・ガラス工事作業 塗装工事 塗装 ・建築塗装作業 内装工事 内装仕上施工 ・アクリル系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・化粧フィルム工事作業 熱絶縁施工 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業 表装 ・壁装作業 排水工事 配管 ・建築配管作業 舗装工事 路面表示施工 ・溶解ヘイドマーカ工工事作業 ・加熱ヘイドマーカ工工事作業 植栽工事 造園 ・造園工事作業			
	10 見本施工	・行う（内容） ※行わない			
11 室内空気中の化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること 測定対象室及び測定箇所数 ※図示（仕上準備欄） ・（ ）か所				
12 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。				
13 完成時の提出図書	※完成図（作成範囲 ※配置図 ※各階平面図 ※各立面図 ※断面図 ※仕上表） ※完成図（CADデータの提出 ※する（CAD-R） ・しない） ※記入内容は標準仕様書（表1.7.1）による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 ※施工計画書（A4ファイル綴じ 提出部数：1部） ※施工図（CADデータ 提出部数：1部） ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部） ※下記のものを監督員に提出する。工事写真については、隠蔽となる部分は全て写すこと。 区分 分類規格 提出部数 部数 着工前及び工事中 カラー ※サービス版 工程毎 1部 カラー ※キャビネ版 枚 部 完成時 カラー ・全紙版（768線録入） 枚 部 ・ 枚 部 デジタル写真も可とし、その仕様も含め1 適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックを参照すること。 ・デジタルカメラで撮影された工事写真（CD-R共提出） ※進捗写真提出率写真内外6面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時				
14 工事写真・完成写真					
記 事		町営住宅万行第3団地倉庫改修工事等 設計図	縮尺 1/	担当	ヤマモト建築設計事務所 事務所登録 第 869 号 管理建築士 一級建築士 山本 春比古 建築士登録 第 99991 号 〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野 915 TEL:0880-43-3548
		特記仕様書（建築工事）		図面番号 A-01	

鉄筋工事	⑤	1 鉄筋	鉄筋の種類等 (5.2.1) (表5.2.1) 種類 呼び径 (mm) 備考 ○SD295A D10・D13 ・SD345 ・ ・	5 混和材料	・混和剤 (6.3.1) (6.3.2) 混和剤の種類 ・標準仕様書 6.3.1(4) (a) による ・ () ・混和材 混和材の種類 ・標準仕様書 6.3.1(4) (b) による ・ ()			
		2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ○溶接金網 6×150×150 土間 ・鉄筋格子	6 軽量コンクリート	種 別 (6.10.2) (表6.10.1) ・1種 使用部位 () ・2種 使用部位 () 適用箇所 (6.10.2) ・ () ・図示			
		3 鉄筋の継手	継手方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3) 部 位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 その他の鉄筋 (基礎) ※重ね継手 D10・D13	7 無筋コンクリート	適用箇所 (6.14.1) ・標準仕様書 6.14.1(4) による箇所 ・標準仕様書 6.14.1(4) 以外の箇所 ・ () ・図示 設計基準強度 (6.14.1) ○18 (N/mm) ² ・ () スランプ (6.14.1) ・15cm ・18cm ○ (10 cm)			
		4 鉄筋の定着長さ	○構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b) による (5.3.4) ・図示	8 ひび割れ誘発目地、打継目地	目地寸法 (6.6.4) (9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3による ・ () 間隔・位置・形状 (6.8.1) ・ () ・図示			
		5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) (5.3.5) ○構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による ・図示 ・ () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○無し ・有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ ・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ・無し ・有り 適用箇所 () ・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ () mm ・ () 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し ・有り 適用箇所 () ・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ () mm ・ () 鉄筋相互のあき (機械式継手・溶接継手を除く) (5.3.5) (図5.3.6) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1による ・図示 ・ ()	9 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.6.6) (6.8.3) (表6.2.4) 種 別 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 コンクリートの仕上りの平たんさ (表6.2.5) ・a種 ・b種 ・c種			
		6 各部配筋	各部配筋 (5.3.7) ○構造関係共通図 (配筋標準図) による ・図示 ・ ()	10 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) (6.8.1) ・20mm ・ () ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・ ()			
				11 型枠	せき板の材料 G 及び厚さ (6.8.2) ○合板 ○12mm ・15mm () ・ () 断熱材の兼用 (6.8.2) ・行わない ・行う M C R工法用シート (6.8.2) ・用いる 打増し厚さ ・20mm ・ () 打増し範囲 ・ () ・図示 ・用いない スリーブの材種 (6.8.2) (表6.8.1) ・標準仕様書 6.8.2(9) (i) 及び標準仕様書表6.8.1による ・ ()			
				13 コンクリートの単位水量測定	実施要領 ・構造関係共通図 (構造関係共通事項) 構-4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による ・ ()			
				13 ④とい	といの材種 (13.5.2) (表13.5.1) ・配管用鋼管 ・表面処理鋼板 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP G ・VP) ○塩化ビニル製 防露材のホルムアルデヒド放散量 (13.5.2) ※規制対象外 ・第三种 鋼管製といの防露巻き (13.5.2~3) (表13.5.4) ※行う (施工箇所 ※標準仕様書表13.5.4 による ・ ()			
		コンクリート工事	⑥	1 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度	普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.1~4) (表6.2.2) 設計基準強度 (N/mm ²) スランプ 適用箇所 ・21 ・ ・ ・ ・ 軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.1~4) (6.10.1~2) (表6.2.2) 設計基準強度 (N/mm ²) スランプ 適用箇所 ・ ・ ・	屋根及びとい工事		
2 コンクリートの類別	類 別 (6.2.1) (表6.2.1) ※Ⅰ類 ・Ⅱ類							
3 セメント	種 類 (6.3.1) (6.13.2) (表6.3.1) ・普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位 () 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする。 ・高炉セメントB種 G 使用部位 () ・フライアッシュセメントB種 G 使用部位 ()							
4 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B ・再生骨材H 本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。							
記事	記			町営住宅万行第3団地倉庫改修工事等 設計図	製図	担当	ヤマモト建築設計事務所 事務所登録 第 869 号 管理建築士 一級建築士 山本 春比古 建築士登録 第99991号 〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野915 TEL・0880-43-3548	
					縮尺	図面番号		
					1/	A-02		
				特記仕様書 (建築工事)				



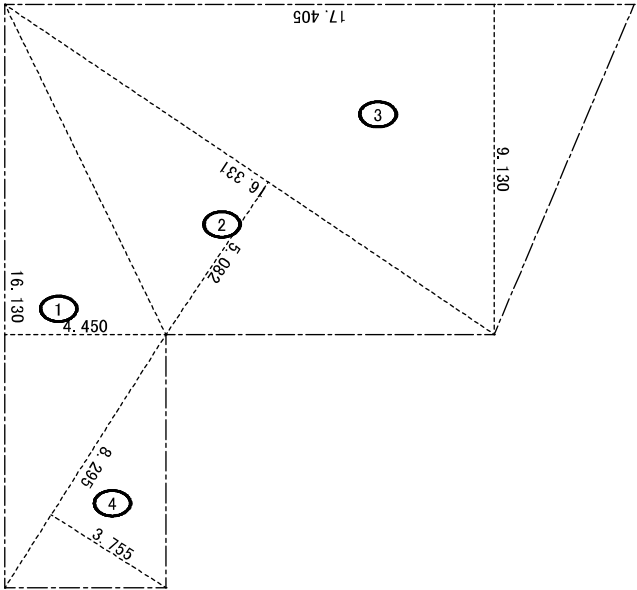
付 近 見 取 り 図



面積表 (㎡)

敷地面積	172.41
申請建物面積計算 建築面積・床面積：1棟当り＝7.568×2.213＝16.747984≒16.74㎡ 全体＝16.74×2棟＝33.48㎡	
既存建物面積計算 建築面積・床面積：1棟当り＝2.3×7.50×2棟＝34.50㎡	

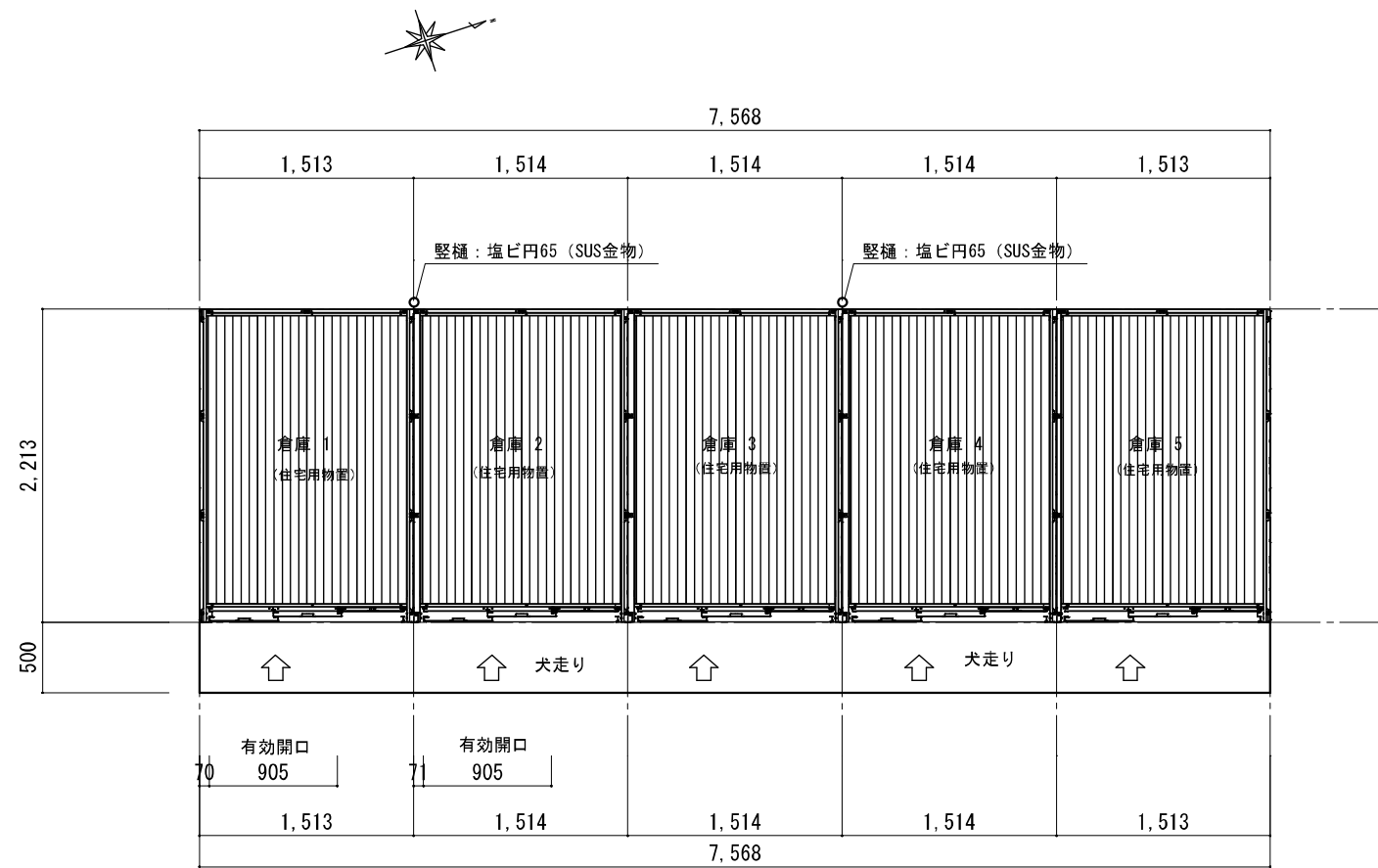
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	16.130	4.450	71.778500	35.8892500
2	16.331	5.082	82.994142	41.4970710
3	17.405	9.130	158.907650	79.4538250
4	8.295	3.755	31.147725	15.5738625
合 計				172.4140085
敷 地 面 積				172.41 ㎡



基本タイプ：淀川製鋼所・エルモ 連続型 タイプ（同等品）

1 棟当たり
建築面積・床面積＝7.568×2.213＝16.747984≒16.74 m²

1 戸当たり
有効室内寸法＝1.419×2.038＝2.891922≒2.89m²（高さ＝2.030）

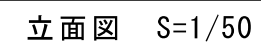
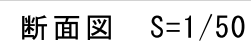
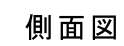
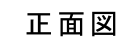
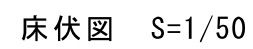


平面図 S=1/50

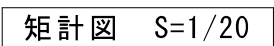
各仕様表

部 材 名	厚さ (mm)	材 質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
床 補 強	1.2	JIS G3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
<共通型> もや A-A2.0	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
下 枠 前 (側・後・中)	1.2 (1.0)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
上 枠 前 (後)	1.0 (0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
上 枠 左 右	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (ツートンカラー)
上 枠 中	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
上レール	1.2	アルミニウム合金押出型材
下レール	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
鼻 隠 し 前	0.5	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (ツートンカラー)
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
隅 柱 前・後	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
中 柱 前・後	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
扉	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
袖 壁	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
間 柱	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
床 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 GGLCC
内アンカー金具 (L)	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板

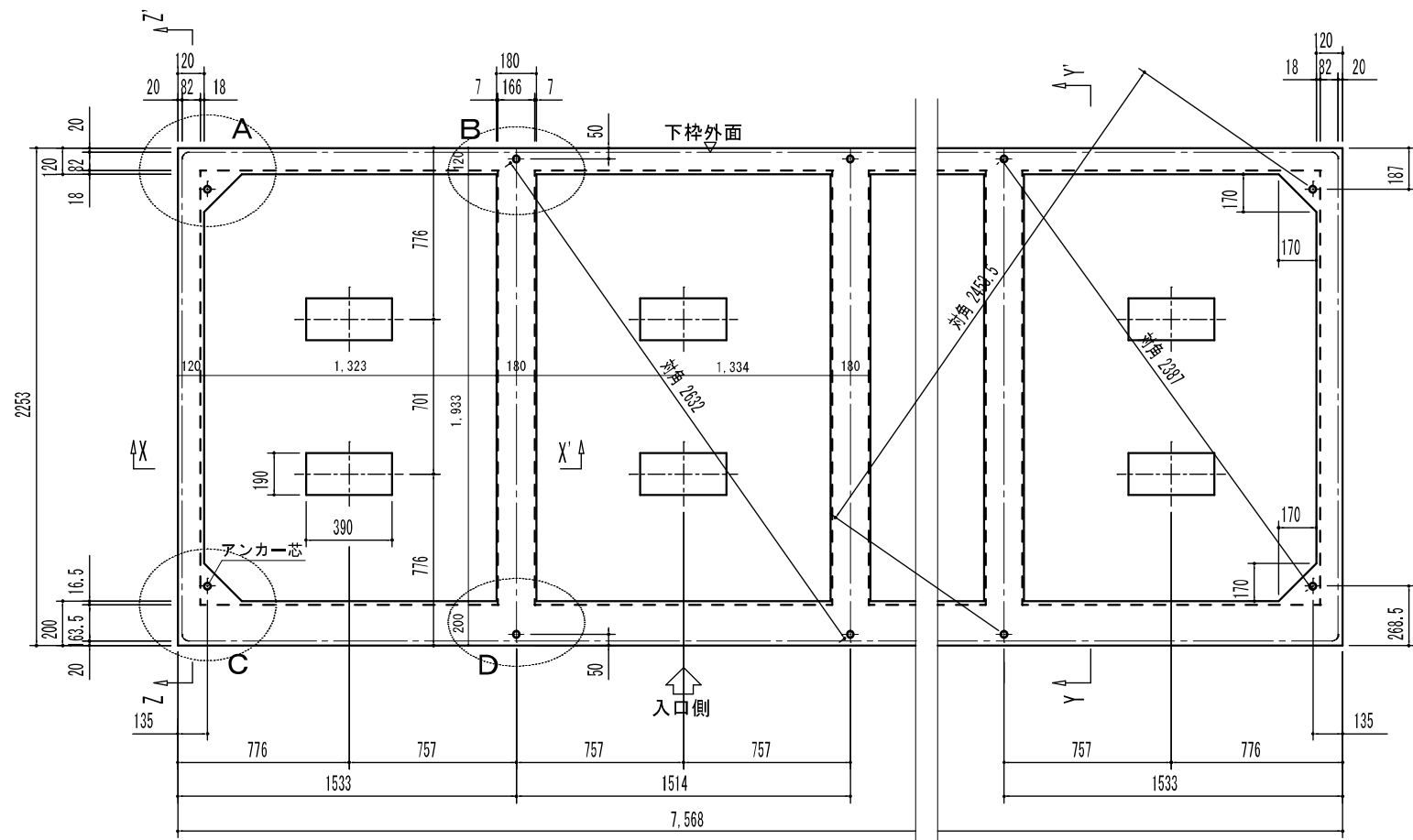
部 材 名	サイズ (巾×U+00D7高さ)
扉 前 L-G	482.5 巾U+00D7 1938
扉 後 L-G	482.5 巾U+00D7 1938
壁パネル L-A	670 巾U+00D7 1870
袖 壁 L-G	436 巾U+00D7 1909



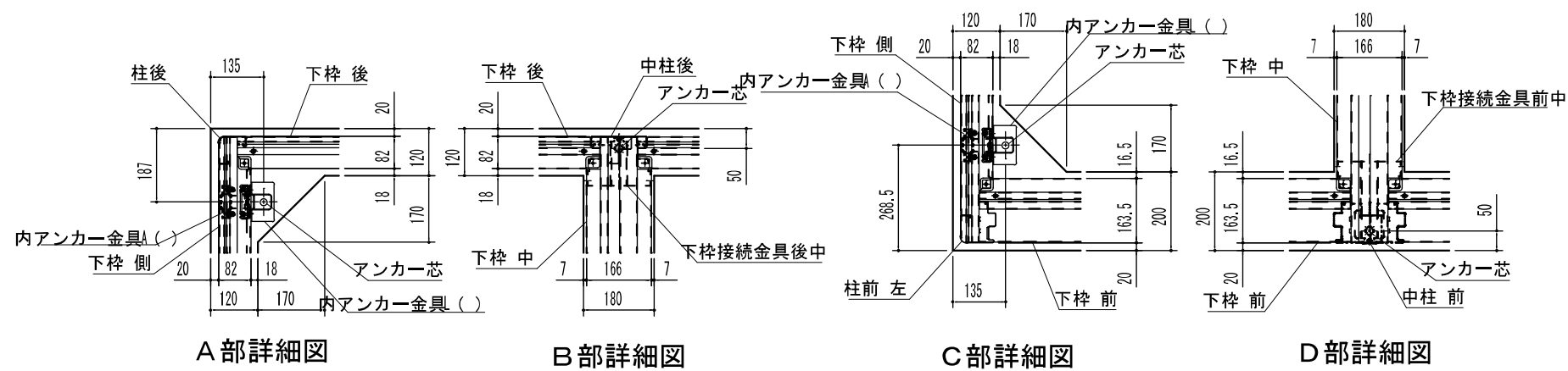
記 事		製図 —	担当	ヤマモト建築設計事務所 事務所登録 第 869 号 管理建築士 一級建築士 山本 春比古 建築士登録 第 99991 号 〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野 915 TEL・0880-43-3548
	町営住宅万行第3団地倉庫改修工事等 設 計 図			
	床伏図・立面図及び断面図	縮尺 1/50	図面番号 A-05	



記 事		製図 — 縮尺 1/20	担当 図面番号 A-06	ヤマモト建築設計事務所 事務所登録 第 8 6 9 号 管理建築士 一級建築士 山本 春比古 建築士登録 第 9 9 9 9 1 号 〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野 9 1 5 TEL・0880-43-3548	
	町営住宅万行第3団地倉庫改修工事等 設 計 図				
	断面詳細図				

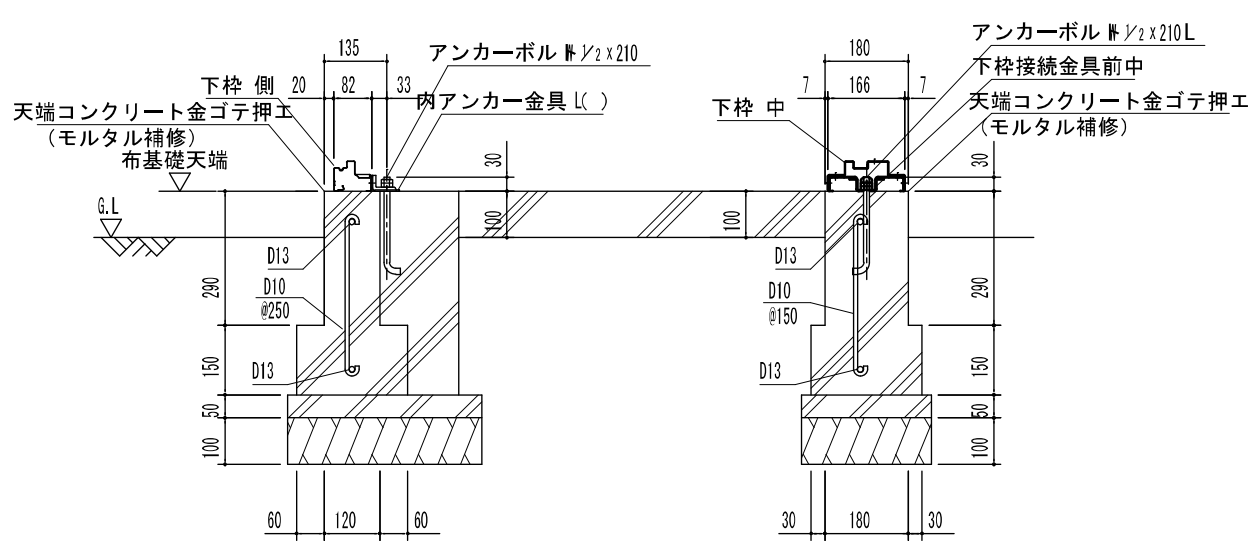


基礎伏図 S=1/30

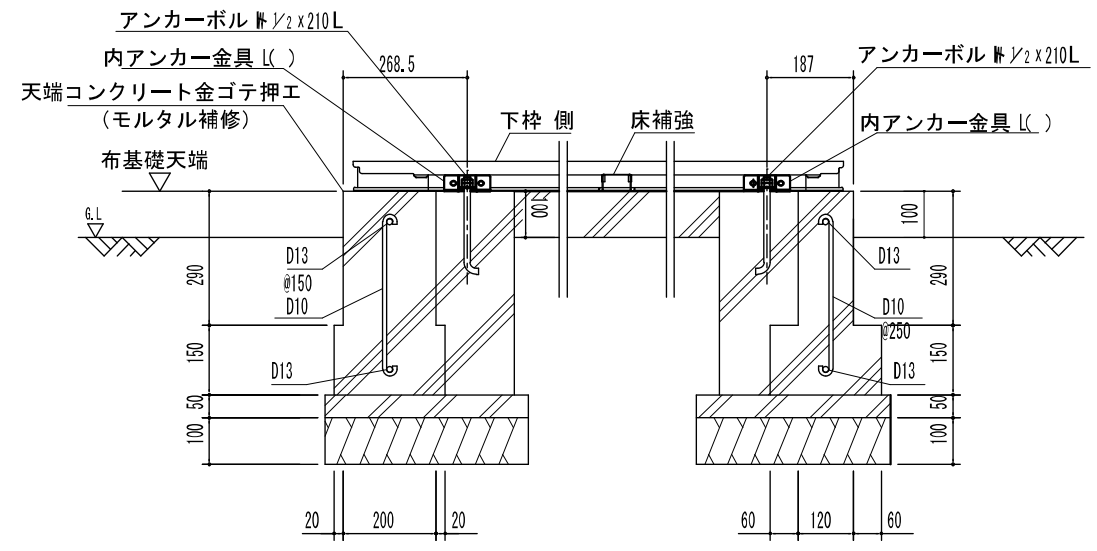


詳細図 S = 1/15

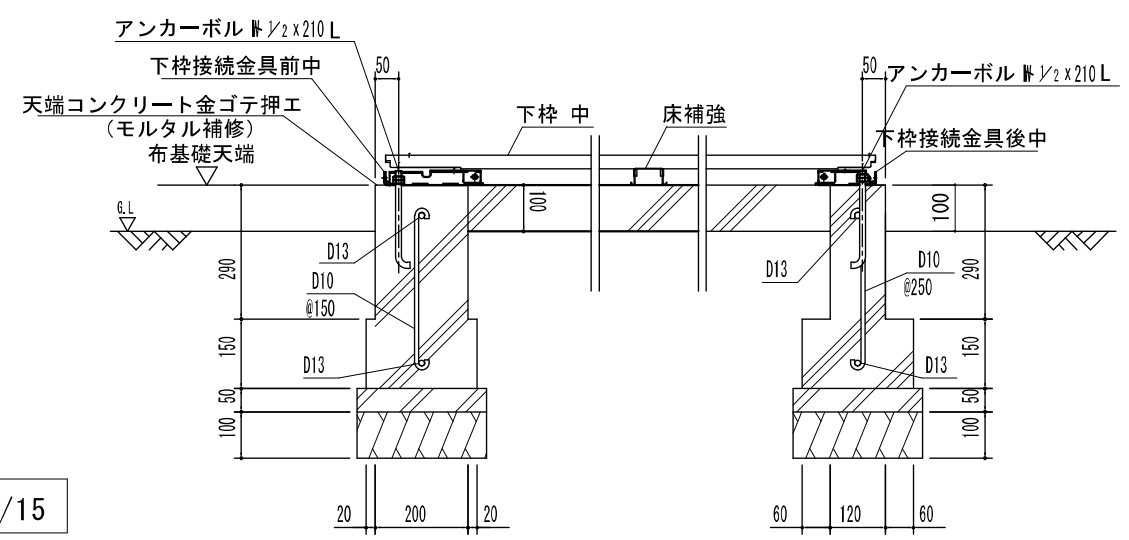
記事		町営住宅万行第3団地倉庫改修工事等 設計図 基礎伏図及び詳細図	製図	担当	ヤマモト建築設計事務所 事務所登録 第 8 6 9 号 管理建築士 一級建築士 山本 春比古 建築士登録 第 9 9 9 9 1 号 〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野 9 1 5 TEL・0880-43-3548
			縮尺	図面番号	
			1/30, 15	A-07	



X ~ X' 断面



Z ~ Z' 断面



Y ~ Y' 断面

基礎コンクリート	FC:21-15-20
土間コンクリート	FC:18-15-20
捨てコンクリート	FC:18-10-20
鉄筋	SD295A D10・13
砕石	再生砕石

詳細図 S=1/15

記 事		町営住宅万行第3団地倉庫改修工事等 設 計 図	製図	担当	ヤマモト建築設計事務所 事務所登録 第 8 6 9 号 管理建築士 一級建築士 山本 春比古 建築士登録 第 9 9 9 9 1 号 〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野 9 1 5 TEL・0880-43-3548
			縮尺	図面番号	
			1/15	A-08	
基礎詳細図					